

## ルーマニア・マニアへの道 その2



### ルーマニアの食文化

ルーマニアは小麦栽培を中心とした混合農業が盛んな農業国です。ここで育つ多くの作物は味が凝縮しているため、ルーマニア料理は素材の味を生かしたシンプルな家庭料理がメインです。また、歴史的にルーマニアはいくつかの違う文明・文化の交差点にあった国なので、さまざまな外の国からの影響を受け、独自の食文化を形成してきました。

主食はどんなもの???

主食は小麦とトウモロコシが基本!!

ルーマニアの気候・土壌が小麦とトウモロコシの生産に適しているため

ルーマニアと日本の生産状況 (2014年)  
(単位: 万トン)

|        | ルーマニア | 日本   |
|--------|-------|------|
| とうもろこし | 1,199 | 0.02 |
| 小麦     | 758   | 85   |
| ばれいしょ  | 352   | 246  |

出所: 農林水産省資料

日本と比べると、ルーマニアでは小麦、トウモロコシなどの穀物を中心に栽培していることがよくわかります。

どうやって食べるの???



経済学部  
成富さん



文学部  
横山さん



経済学部  
小瀬さん

成蹊大学  
ルーマニア交流プロジェクト  
学生スタッフ有志メンバーが  
調べてくれました。

### サルマーレ



サルマーレとはルーマニア(風の)ロールキャベツです。発酵し酸っぱくなった塩漬のキャベツに挽肉、タマネギなどを包み煮込んで作ります。酸っぱい味かなんともいえず、手間がかかる料理ということもあり特別な日にふるまわれるルーマニアの代表的な肉料理です。現地では、サルマーレを上手に作れるようになってはじめて一人前とされているようです。

### ママリーガ



ママリーガはルーマニアの代表的な主食の1つです。とうもろこしの粉に牛乳とバターなどを練りこんで煮たもので、肉料理の付け合せとしてよく食べられたり、白チーズとサワークリームと合わせて食べられたりしています。また、プラム・ストーリー作の『ドラキュラ』にも登場しており、ルーマニアの国民食といっても過言ではありません!

### ルーマニアの名所

歴史的な遺産と豊かな自然が共存するルーマニアは一度訪れたらその魅力の虜になってしまうこと間違いなしです! 今回は、そんなルーマニアの観光名所の中から代表的なものを紹介します。

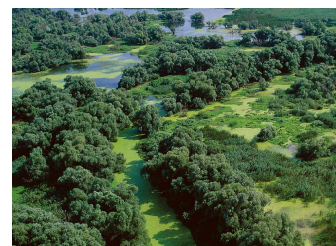
#### 国会宮殿

国民の館とも呼ばれているこの宮殿は首都ブカレストにチャウシェスク政権時代に建築されました。見どころは何といってもその圧倒的な大きさです。



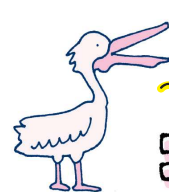
地上10階、地下4階建てで部屋数は3,000超と世界第2位の大きさを誇る建築物です。外見だけでも一見の価値がありますが、建物内には現代芸術美術館もあり、内部の見学も大変充実しています。

#### ドナウデルタ



ヨーロッパの中でも特に自然に恵まれた国であるルーマニアを象徴するのが、この世界遺産ドナウデルタです。ドナウデルタには3つの運河があり、その間に広がる湿地帯は絶景を見せてくれ、自然の中にリラクゼーションを求める人にとってはまさに理想の場所です。

ドナウデルタにはヨーロッパの魚類の98%が生息していることや、モモイロペリカンをはじめとした非常に多くの野鳥や、植物が生息しているため、魚釣りやバードウォッチングを楽しむこともできます。



モモイロペリカンは  
ルーマニアの国鳥です

~ルーマニア ホストタウン ムサシノ~

# モモイロペリカン通信

vol. 2

## ルーマニア・パラ選手団

### 6名が武蔵野市にやってきました



ルーマニアパラアスリート支援募金を使って、ルーマニアパラリンピック委員会会長、選手3名、コーチ2名を強化合宿に招待しました。選手団は、1月19日から25日まで市内に滞在しながら強化練習を行ったほか、小中学校へ訪問し、児童生徒と交流を深めました。

1月20日にはホストタウン交流フェス〜Sports for all ルーマニア・パラ〜が武蔵野総合体育館にて開催され、ルーマニア文化体験ブースやバラスポーツを通して選手との心温まる交流を行いました。選手たちからは、武蔵野で一生忘れられない素晴らしい経験ができたことへの感謝の気持ちや、2020東京大会出場に向けて更に練習を頑張りたいとの意気込みが聞かれました。募金にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。これからもルーマニアパラアスリートを応援していきましょう!

#### 選手紹介



アレクサンドル・ボロが選手 (23歳)  
2012年頃 当時通っていた視覚障がい者のための学校で初めて柔道に出会う  
2016年 リオデジャネイロパラリンピックにて視覚障がい者柔道男子60kg超級にて銅メダル獲得! 現在は2020東京大会に向けて練習中。柔道に励みながら、クルージュ大学で心理学について勉強する大学院生。柔道が大好き、日本料理も大好きで、ちょっぴりシャイで謙虚な青年。



ガブリエラ・コンスタンティン選手 (37歳)  
19歳の時、両手に障害がありながら卓球をしている子と出会い、卓球を始める。現在は週5〜6日、2〜3時間練習。普段はアカスリの NGO 団体で秘書として勤務。全身を使った豪快なプレーが印象的。「息抜きは卓球!」という程の卓球好き。慣れない日本食にも果敢にチャレンジし、はにかんだ笑顔が素敵な女性。



タビタ・ブルトゥラル選手 (23歳)  
2年程前から本格的に卓球の練習を始める。大学では社会福祉について勉強していたが最近卒業し、今は卓球に専念している。現在は週5日、2時間練習。  
3人姉妹の真ん中で、とても控えめな性格だが、バラスポーツの普及という熱い想いを秘めている。

## JOIN&SUPPORT

ホストタウン事業に参加・協力しよう!

#### ルーマニアホストタウンムサシノ

##### サポーター登録

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、ホストタウンとしてルーマニアを応援し、一緒に地域を盛り上げる仲間を募集しています。文化やスポーツを通じた感動や交流を一緒に体験しませんか? サポーターに登録すると、各種イベント情報が登録したメールアドレスに届きます。

サポーター登録は  
コチラから



#### 夢に挑む 戦う パラ選手たちへエールを

##### ルーマニア パラアスリート募金

各国のパラリンピック組織委員会はオリンピックと比べ資金が十分とは言えない状況です。ルーマニアも例外ではなく、海外での十分な練習をするためには引き続きみなさんの支援が必要です。

募金はコチラから



サポーター登録、募金方法については、  
武蔵野市交流事業課までご連絡ください。

武蔵野市交流事業課内  
ルーマニアホストタウン推進実行委員会事務局  
TEL:0422-601806 Mail:SEC-KORYU@city.musashino.lg.jp

#### ルーマニアホストタウンムサシノ キャラクター紹介 NO.2

##### ショータ



武蔵野市在住。大学生。生まれ育った武蔵野市に愛着があり、休日も吉祥寺でぶらぶら過ごすことが多い。最近始めた写真が趣味。ルーマニア人の女の子のホストファミリーをすることが決まり、ルーマニアに少しずつ興味を持つようになった。

Twitterアカウント:  
@shotaeli

# 「知ってみルーマニア！」

## EVENT REPORT

### 第1弾 ルーマニアワインと食文化、美しい景観と共に

10月28日(日)～11月1日(木)武蔵野プレイスにて写真展とルーマニアワインミニ講座を開催しました。講座はワイン輸入商社のベレシュ・ダニエル氏に、ルーマニアワインにまつわる歴史、自然環境、神話まで…お話しいただき、ルーマニアがワインを通してぐっと身近に感じられるようになりました。



#### ★ルーマニアワインの魅力とは…

6000年の歴史を持ち、中世ヨーロッパの皇帝・国王たちも愛飲したというルーマニアワインですが、日本での知名度はいまひとつ。それは、第二次世界大戦後に社会主義国家になり、国外への輸出が制限された時代が続いたため。しかし、そのような時代を乗り越え、ルーマニアでは伝統的なワイン生産の文化が継承され、現在も100種類以上の土着品種が栽培されています。最近、国の補助をうけ最新式の設備を取り入れた施設も生まれ、酸化剤や農薬をできるだけ減らし環境に配慮したワインが生産されています。

## わたしのルーマニア

ルーマニア×武蔵野×ヒト

### 「人が繋ぐ交流の絆」

武蔵野ブラショフ市民の会  
理事長 藤田琢磨氏



富士山へのバスハイク。ルーマニア大使館の方々とご家族を招いて。(2018年3月)



藤田 琢磨 (ふじた・たくま)

1939年生まれ。欧州や米国での生活は23年間に及ぶ海外通。1989年に武蔵野市国際交流協会となり、海外経験を活かして在留外国人の日本語教育、生活相談、FMラジオ等のボランティア活動に参加。2002年、武蔵野・ブラショフ交流10周年記念行事として市民交流団が結成され、ブラショフを訪問。その後に武蔵野ブラショフ市民の会へ入会し、ルーマニア・ブラショフとの交流促進のため活動中。

1992年、ブラショフの交響楽団の来日公演を機に、公演をサポートしたボランティアの武蔵野市民により「ブラショフ市民の会」が結成されました。それから26年の長きにわたり活動続ける市民の会は、日本に憧れ来日を熱望するルーマニアの若者を研修生として受け入れてきました。研修生は昨年のサンドラさんを含めて20人を数え、約1か月にわたりホームステイ、歓迎会、日本文化の体験など滞在中のお世話をしています。研修生の招聘に加え、月2回のルーマニア語講座と、ルーマニア大使館員とのバスハイクや新年会などの交流イベントの運営を3本の柱として様々な活動をしています。

### 藤田さんへインタビュー

#### 藤田さんが思うルーマニアの魅力とは？

— 生き馬の目を抜くような今の日本とは違い、のどかでこれぞ本来の人間の住むところと思えるような本当にすばらしい場所だと思います。そしてとにかく人々の性格が良い！ 素朴でおおらかで、これほど他民族への偏見のない国民も珍しいと思います。

#### ルーマニアと武蔵野市のこれからは望むことは？

— 東京2020大会が終わっても、ルーマニアとの長年の交流を途絶やすことなく続けていってほしいです。そしてルーマニアのすばらしさや面白さを多くの人に知ってほしい。市民の会としては、会員の増加と若返りも図っていきたいです。若者の皆さん、ぜひ自身の交流を通じた感動を経験しに来てください。

#### ● インタビュー後記 ●

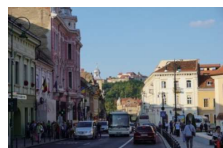
藤田さんは23年間も海外でお仕事をされていた国際派でありながら、趣味は観世流の能と謡曲で、60年も続けていらっしゃるとのこと。ルーマニアのすばらしさを熱く語られる姿が印象的でした。(交流事業課 稲垣)

### 第2弾 ホストタウン事業等報告会 ～ルーマニア魅力発見～

12月7日(金)に日本武蔵野センターとホストタウン事業の報告会を行いました。

9月17日(月)～23日(日)にブラショフ市・ブカレスト市を訪問した市民団30名より報告がありました。市民団はブラショフ市内で日本文化のワークショップを行ったり、コンサートへの参加や日本武蔵野センターの学生たちと市内観光を行い、武蔵野市とルーマニアの交流を深めてきました。

#### 飯田 和俊さん



ブラショフの旧市街の街並みは印象的でした。全体がこじんまりと纏まっていて、とてもきれいでした。今回ブラショフの街並みを感じ、歴史を知り、そこに住んでいる人々と接する機会を得ました。これからは、この人たちが日本に来た時には、どんなことをしたら喜ぶだろう、どんなことを知りたいんだろうということをもっと身近に考えることができるように思います。

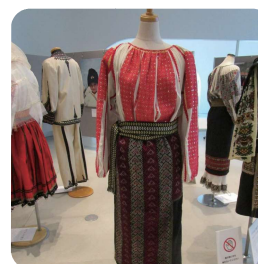


#### 三浦 萌さん



すごく充実した7日間でした。予想以上に折り紙がルーマニアの子供たちから人気でした。たくさんの人と日本の文化を共有できました。今回のプログラムを通して得た経験、繋がりを今回だけに留めるのではなく、2020東京オリンピックでも活かし、交流していきたいです。

### 第3弾 ルーマニアの手しごと～民族衣装展と刺しゅうワークショップ



2月12日(火)～2月19日(火)武蔵野プレイスにて民族衣装展と刺しゅうワークショップを開催しました。ワークショップ講師は刺繍手芸作家で「花音舎」主宰の岩田由美子先生。昔から今に伝わる刺しゅうの魅力を体験しました。ルーマニアの民族衣装が集結した衣装展では、すべて手作業の美しい刺しゅうがほどこされた民族衣装に魅了される方が続出しました。

#### ★ルーマニアの代表的な刺繍～イーラーショシュ～

フォークロアの文化が色濃く残るトランシルヴァニアのカラタセグ地方に伝わる伝統的な刺繍。農業を営むこの地方では、冬のあいだ女性が行う手しごととして、刺繍の文化が根付いていました。赤や黒、青、白の単色による密集したデザイン、ステッチをいくつも重ねた太く素朴なライン。ウールのための糸を使ってみっちり刺します。



参考文献：岩田由美子著：トランシルヴァニアの可愛い刺繍／谷崎聖子著：トランシルヴァニアの伝統刺繍 イーラーショシュ

### 日本武蔵野センター便り

今回は昨年の夏に研修生として武蔵野市に滞在した、おなじみサンドラさんのルーマニアでの普段の生活をご紹介します。日本武蔵野センターに通う学生たちがどんな生活をしているのか、ルーマニアの女子高生の暮らしぶりを垣間見てみましょう！

#### サンドラさんのとある一日



家族はお父さんとお母さんとサンドラさんの3人家族。お父さんは車関係の仕事、お母さんは小学校の先生。ルーマニアでは共働きが一般的。



07:00 07:30 08:00 日本と同じように 13:00

起床  
朝ごはん

通学  
お父さんの車で通学

学校  
スタート



学校  
終了

11時頃に20分休憩があって持参したサンドイッチを食べる！校内にお店や食堂もあるよ。

この日は金曜日、いつもより早く終わります

13:00 合唱部の練習スタート

ルーマニアで部活がある学校は珍しいです

13:00 合唱部の練習終了

バスで日本武蔵野センターへ  
バスの中でパンを食べます！

14:00 日本武蔵野センターで日本語授業

他のクラスが終わるまでYouTubeで踊りの動画を観たり、本を読んだり。

15:00 授業終了

17:00 日本武蔵野センターのダンス部の練習スタート



19:00 ダンス部の練習終了



バスで帰宅

20:00 夕飯

21:00 アニメを見たり、お母さんとテレビをみたり…

金曜日はいつもより1時間夜更かしが許されています。



21:30 24:00

就寝